

令和3年度当初予算の概要

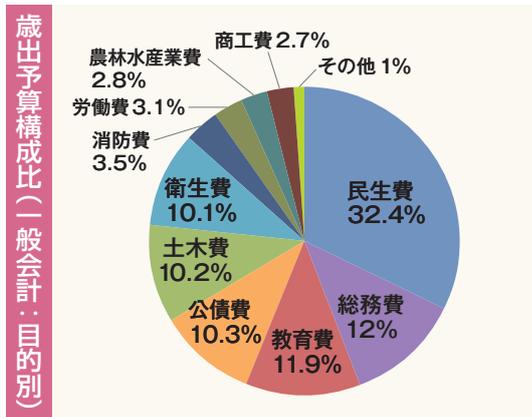
「コロナ禍を契機とした社会変化に対応し、未来への飛翔力を育む予算」

2月定例会では、令和3年度の市長施政方針において、「これまで培ってきた協働の力によって、コロナ禍をより良いまちづくりへのチャンスと捉える。地方分散の受け皿作り、デジタル化を進め、ポストコロナ時代の新しい時代を築く」方向が示され、それを実現するための予算が提案、可決されました。

歳出を全体で4.5%、23億円ほど押さえ、財政調整基金からの繰り入れ減額(10億円)、市税収入等の減額(7億8,981万円)や市債・国庫支出金・県支出金などの依存財源の減額(7億820万円)などを補う予算立てとなっています。

区分	令和3年度	令和2年度	増減
総額	828億9,226万円	851億9,893万円	△23億667万円
一般会計	484億8,000万円	507億8000万円	△23億円
特別会計	243億8,218万円	241億6,518万円	2億1,700万円
企業会計	100億3,009万円	102億5,375万円	△2億2,367万円

*特別会計(国民健康保険、後期高齢者保険、介護保険、大坂・土方工業用地整備事業、4財産区など)
企業会計(水道、下水道など)



ポストコロナ&ウィズコロナ対応として

- ・議場インターネット無線LANや議員のタブレット導入(1,104万円)
- ・GIGAスクール構想に基づいた児童生徒1人1台タブレット端末活用(1億193万円)
- ・個人番号カード普及拡大(5,354万円)
- ・新たなビジネススタイル応援補助金(サテライトオフィス等誘致1,000万円) 他

主な新規事業

教育・文化

- 大東給食センター改修(1億661万円)
- 電子図書館システム構築(576万円)

健康・子育て・福祉

- 千羽地内保育園開設(1億7,624万円)
- 結婚新生活支援事業(450万円)

安全・安心・都市基盤

- 庁舎天井改修(2億3,811万円)
- 自主防災会タブレット端末導入(843万円)

協働・広域・行財政

- DX推進・地方分散を受けた都市づくり計画策定(400万円)
- WEBによる職員採用(354万円)

産業・経済・シティプロモーション

- 移住促進拠点施設整備事業(1,000万円)
- 観光誘客推進事業(450万円)
- 産業立地奨励事業(3億2,472万円)

令和3年度一般会計補正予算の概要

第1号 新型コロナウイルスワクチン接種体制費 増 6億4,366万円
接種体制費用(接種費用、会場費、コールセンター運営費、人件費等 全額国庫支出金)

第2号 健康ふれあい館改修費負担金 追加 2億4,000万円
施設及び設備の改修に要する経費の一部を負担金として交付

経済変動対策貸付金利子補給金 増 442万円